

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩川の里身体障害者福祉会館	評価対象年度	令和5年度
事業者名	・事業者名: 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名: 佐川 道夫 ・住所 : 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	<p>【生活介護(作業室なかのしま)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数: 25名(定員20名※令和6年3月31日時点) ・食事提供数: 4,003食、入浴サービス: 514回 <p>【講習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話入門講習会(昼間) 全8回 158名 (夜間) 全8回 111名 ・点字入門講習会 全5回 24名 ・要約筆記入門講習会 全8回 52名 ・音声訳入門講習会入門 全5回 74名 ・小学生のための福祉交流学習 全3回 61人 ・下布田小学校講習会: 全4回 132名 																														
収支実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">収入</th> <th style="text-align: right;">金額</th> <th style="text-align: left;">支出</th> <th style="text-align: right;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給付費・利用料他</td> <td style="text-align: right;">110,469,326</td> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">84,235,603</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td style="text-align: right;">25,497,000</td> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">11,517,707</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>事業費</td> <td style="text-align: right;">9,522,383</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">29,969,150</td> <td>事務局経費</td> <td style="text-align: right;">4,804,352</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">29,108,800</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">165,935,476</td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">139,188,845</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">収支差額 26,746,631千円</p>			収入	金額	支出	金額	給付費・利用料他	110,469,326	人件費	84,235,603	指定管理委託料	25,497,000	事務費	11,517,707	拠点区分間繰入	0	事業費	9,522,383	その他	29,969,150	事務局経費	4,804,352			その他	29,108,800	合計	165,935,476	合計	139,188,845
収入	金額	支出	金額																												
給付費・利用料他	110,469,326	人件費	84,235,603																												
指定管理委託料	25,497,000	事務費	11,517,707																												
拠点区分間繰入	0	事業費	9,522,383																												
その他	29,969,150	事務局経費	4,804,352																												
		その他	29,108,800																												
合計	165,935,476	合計	139,188,845																												
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内でも、職員の支援における課題や伸ばしていくスキルを話し合うとともに、必要な研修については、積極的に取り入れていくことを検討するなど、サービスの質向上に向けて取り組んだ。 ・身体及び感覚機能の維持向上に向けた取組として、理学療法士による機能訓練のプログラムの調整や身体機能の評価を実施するとともに、外部の講師に依頼して、音楽療育も実施した。 																														

3. 評価 (評価段階: 5~1, 標準: 3, 加点割合: 5→100%, 4→80%, 3→60%, 2→40%, 1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	5	10
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴サービスにおいては、入浴前の健康チェック(検温、血圧測定等)や複数の職員で入浴介助を行うなど、障害度合いの高い方に対しても、適切にサービスを提供できるよう体制を整えて、支援を行った。 ・新型コロナウイルス感染症などの感染症による重症化及び蔓延防止のため、川崎市役所・医療機関などの関係機関と調整し、インフルエンザワクチンや新型コロナウイルスワクチンの巡回接種を接種希望者を実施するなど、利用者の体調管理を徹底した。 ・日課や行事の様子をSNS(インスタやフェイスブック)を活用して周知するとともに、利用者が作成した作品を市内で開かれている「Colors展」や「かわさきふれあい作品展」等へ出展するなど、市民に向けた障害理解の増進や普及活動を行った。また、出品後の作品についても、エントランスのショーケースに飾るなど、今後の利用者の活動意欲に繋がるよう工夫して取り組んだ。 ・川崎市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、地域の施設と民生委員・児童委員が交流を行うことで、お互いのことを知り、地域のつながりを持つことを目的として、「地域でつながる福祉交流会」を開催しました。障害者施設や障害児者に対する相談体制などに関する説明や日頃からの困りごとについての相談を受け付けました。 				

収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・外部の公認会計士による監査を受けており、監査結果も指摘事項はなかった。 ・昨年度より支出は増加しているが、収支は安定的に維持できている。 					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	5	10
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・月2回、理学療法士に機能訓練のプログラムの調整や身体機能の評価を行ってもらうことで、利用者の身体機能の低下を予防するとともに、短いスパンで評価を行うことによって、その時々で利用者が、現状必要としている機能訓練に適宜変更するなど、適切にサービス提供を行った。 ・市内の小学校に車椅子を持ち込み、小学生への車椅子体験や利用者への質問時間を設けるなどの福祉交流学習を実施し、地域の福祉活動が促進されるよう取り組んだ。 ・身体及び感覚機能の維持向上に向けた取組として、月2回外部の音楽療育の講師に依頼し、利用者が様々な楽器を使用しての演奏を実施した。また、昨年度まで音楽療育への参加が難しかった利用者が参加できるよう、音楽療育の時間にレクリエーションを組み合わせるなど、工夫を行うことで、令和5年度は昨年度まで参加が難しかった利用者も一緒にイベントを実施することができた。 ・現利用者が引き続き利用しやすいよう、また新たな利用希望者が今後利用したいと思えるよう、利用者からの要望等を踏まえ、適宜、送迎コースの変更について検討を行うなど、利用者のニーズに沿ったサービスを提供した。 ・各講習会とも、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、昨年度より定員数を増やし実施した。特に、毎年、受講希望者が多く、人気の高い「手話入門講習会」などの講習会については、定員を約2倍に増員するなど、地域のニーズに応えるよう取り組んだ。 ・利用者満足度調査や「利用者の会」、「家族会」を実施していくことによって、利用者や親族からの意見・要望等を聞き入れる機会を定期的に設け、事業所としても、それらの意見を事業に反映できるよう体制を整えている。また、今年度においては、利用者からの意見を取り入れて、「うるう年パーティー」やオセロ大会を開催するなど、利用者からの要望に対して迅速に対応した。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	4	4	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・日々の業務の中でも法令遵守を促すと共に、利用者の権利擁護や虐待等に関する研修を重点的に取り入れた。また、今後どのような研修を取り入れていくかについても、職員間で話し合いを実施している。 ・管理者やサービス管理責任者から各職員宛てにメールで連絡を行える体制や、夜間でも法人事務局と連携が行えるような体制を整備するなど、法人内で緊急時の連絡体制が構築されている。また、利用者や利用者家族への緊急連絡の際は、メール・電話・FAXなどの複数の連絡手段を用いる体制を整えるなど、非常時に備えている。 ・事業所内で発生した事故やヒヤリハットについては、発生日のミーティングにおいて、情報共有を行うとともに、発生原因や今後の予防策について、職員間で話し合いの場を設けるなど、事故防止を徹底している。 ・職員会議を定期的に行い、職員間で共有すべき情報を共有したり、他部署間で連携を行うなど、職員間での連携・共有不足が発生しないような体制を構築している。 ・職員から有給休暇の希望があった際には、事業所内でシフト調整を行うなど、有給休暇を取得しやすいような体制づくりを継続的に行った結果、令和5年度の有給休暇取得平均は約18日となるなど、職員のワークライフバランスが確保できるよう、適切に事業運営を行った。 					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・併設している特別養護老人ホーム多摩川の里とともに、空調工事を行い、利用者がより快適に過ごせるように生活環境を整備した。P11 ・施設・設備の保守点検や清掃・警備等については、業者に業務を委託し、適切に保守管理を行った。 ・電気設備に関しては、隣接している特別養護老人ホーム多摩川の里と合同で業務委託し、毎月設備点検を実施し、適切に管理している。					

4. その他加算

分類	項目	着眼点			評価点
その他加算	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			0
(評価の理由)					

5. 総合評価

評価点合計	75	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・月2回の理学療法士による機能評価や利用者・親族への意向確認を定期的に行うなど、個々の利用者に合った支援が提供できるよう努めた。
- ・ノーマライゼーションに向けた取組として、地域での障害理解の増進や普及活動にも積極的に取り組んだ。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・今年度の運営の中で発見された課題や利用者等からの要望を受け、来年度以降も引き続き、より質の高いサービスを提供できるよう努めていくこと。